



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 ニッキ
 コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 和田 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 宣夫
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 046-285-0227

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,981	17.1	764	95.8	832	62.9	613	55.6
29年3月期第3四半期	5,961	△10.9	390	△43.9	510	△26.4	394	△15.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 723百万円 (252.0%) 29年3月期第3四半期 205百万円 (△50.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	327.57	—
29年3月期第3四半期	210.47	—

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	13,904	7,216	51.2	3,796.12
29年3月期	12,911	6,624	50.4	3,470.59

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,113百万円 29年3月期 6,505百万円

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成29年3月期につきましては、当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は15円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,800	4.3	720	43.6	740	26.5	520	5.6
								277.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	2,000,000 株	29年3月期	2,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	125,990 株	29年3月期	125,639 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	1,874,110 株	29年3月期3Q	1,874,419 株
----------	-------------	----------	-------------

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算出しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第126期定時株主総会において、株式併合に係る議案が可決されたことにより、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 15円(注)

(2) 平成30年3月期の業績予想

1株当たり当期純利益 通期 55円49銭

(注)株式併合前に換算した配当額であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善等を背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済は、米国経済の堅調さに加え、中国及び新興国経済の持ち直しが持続したこと等により回復基調が続くものの、米国の政策運営によるリスクや中東・東アジアの地政学的リスクは高いレベルで継続しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、ガス機器事業・汎用機器事業・自動車機器事業ともに販売が堅調に推移し、連結売上高は69億8千1百万円（前年同期比17.1%増加）となりました。

損益につきましては、売上高の増加や採算性の改善等により、営業利益は7億6千4百万円（同95.8%増加）、経常利益は8億3千2百万円（同62.9%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億1千3百万円（同55.6%増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

ガス機器事業は韓国市場向け製品の販売は減少したものの、中国市場向け製品の販売が大きく増加したこと等により、売上高は31億1千3百万円（同9.9%増加）、セグメント利益は4億5千5百万円（同53.0%増加）となりました。

汎用機器事業は主要マーケットである北米向け販売が堅調に推移したこと等により、売上高は28億8千2百万円（同26.6%増加）、セグメント損失は6千1百万円（前年同期は1億8千5百万円の損失）となり、収益面で大きく改善いたしました。

自動車機器事業はインドにおけるダイカスト関連製品の売上拡大等により、売上高は5億7千万円（同30.9%増加）、セグメント利益は3千4百万円（前年同期は5千7百万円の損失）となり、黒字化を達成しております。

不動産賃貸事業は、売上高は4億1千5百万円（同0.0%減少）、セグメント利益は3億3千6百万円（同0.1%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は139億4百万円と、前連結会計年度末と比べて9億9千3百万円増加しました。主な増減項目は、現金及び預金の増加（3億7百万円）、仕掛品の増加（2億7千3百万円）及び投資有価証券の増加（2億2千3百万円）であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は66億8千8百万円と、前連結会計年度末と比べて4億1百万円増加しました。主な増減項目は、未払法人税等の増加（1億8千万円）、短期借入金の増加（9千9百万円）及び電子記録債務の増加（9千2百万円）であります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は72億1千6百万円と、前連結会計年度末と比べて5億9千1百万円増加しました。主な増減項目は、利益剰余金の増加（4億8千2百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（1億3百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、為替動向の先行き不透明感が急激に強まっていることや新機種立上げに伴う先行投資負担等の影響もあるため、現時点においては前回予想値（平成29年10月27日公表）を据え置いておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,695,773	3,003,023
受取手形及び売掛金	1,511,672	1,488,043
電子記録債権	323,697	408,496
商品及び製品	604,613	506,222
仕掛品	1,021,224	1,294,637
原材料及び貯蔵品	44,666	44,860
その他	255,843	794,382
貸倒引当金	△6,938	△6,815
流動資産合計	6,450,553	7,532,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,701,367	2,589,559
機械装置及び運搬具(純額)	1,486,826	1,296,553
その他(純額)	566,249	590,893
有形固定資産合計	4,754,443	4,477,006
無形固定資産	154,851	121,291
投資その他の資産		
投資有価証券	1,505,472	1,728,887
その他	46,087	44,500
投資その他の資産合計	1,551,560	1,773,388
固定資産合計	6,460,854	6,371,686
資産合計	12,911,407	13,904,538
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	476,213	479,316
電子記録債務	397,130	489,540
短期借入金	2,308,542	2,408,270
未払法人税等	92,622	273,423
賞与引当金	141,295	79,009
その他	488,006	780,212
流動負債合計	3,903,810	4,509,771
固定負債		
長期借入金	171,354	62,404
役員退職慰労引当金	156,536	151,376
環境対策引当金	892	892
退職給付に係る負債	1,190,648	1,079,450
その他	863,317	884,572
固定負債合計	2,382,749	2,178,697
負債合計	6,286,560	6,688,468

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	49,674	49,674
利益剰余金	5,338,359	5,821,057
自己株式	△296,718	△297,350
株主資本合計	5,591,316	6,073,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	803,568	906,584
為替換算調整勘定	150,736	170,495
退職給付に係る調整累計額	△40,475	△36,495
その他の包括利益累計額合計	913,829	1,040,583
非支配株主持分	119,701	102,103
純資産合計	6,624,847	7,216,069
負債純資産合計	12,911,407	13,904,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,961,106	6,981,007
売上原価	4,479,664	5,042,581
売上総利益	1,481,442	1,938,426
販売費及び一般管理費	1,090,839	1,173,636
営業利益	390,602	764,790
営業外収益		
受取利息	10,297	8,003
受取配当金	44,899	44,201
為替差益	78,177	30,229
その他	10,411	9,370
営業外収益合計	143,786	91,805
営業外費用		
支払利息	23,610	24,582
その他	20	0
営業外費用合計	23,630	24,582
経常利益	510,758	832,012
特別利益		
固定資産売却益	—	375
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	375
特別損失		
固定資産除売却損	270	778
特別損失合計	270	778
税金等調整前四半期純利益	510,487	831,610
法人税等	113,402	235,103
四半期純利益	397,085	596,506
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,573	△17,397
親会社株主に帰属する四半期純利益	394,511	613,903

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	397,085	596,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,084	103,016
為替換算調整勘定	△225,807	19,557
退職給付に係る調整額	20,070	3,979
その他の包括利益合計	△191,652	126,553
四半期包括利益	205,432	723,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,802	740,657
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,369	△17,598

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	2,832,713	2,277,617	435,689	415,086	5,961,106	—	5,961,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,832,713	2,277,617	435,689	415,086	5,961,106	—	5,961,106
セグメント利益(又 は損失△)	297,567	△185,368	△57,801	336,206	390,602	—	390,602

(注)セグメント利益(又は損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	3,113,178	2,882,561	570,215	415,052	6,981,007	—	6,981,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,113,178	2,882,561	570,215	415,052	6,981,007	—	6,981,007
セグメント利益(又 は損失△)	455,356	△61,371	34,344	336,461	764,790	—	764,790

(注)セグメント利益(又は損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。